

(2).

厚木出張所

RM'-0002

0042

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和二十年九月十八日

厚木連絡委員會現状並新機構

井上委員長

外務省

(日本標準規格B5)

M 1.2.0.1-1-2

古
紙
手

一、現状

九月十三日現在ニ於ケル厚木連絡委員會ノ運営状況ハ之ヲ外務省海軍省、神奈川縣廳、運輸省、逓信院ニ於テ夫々分擔シ居ル事務ヨリ見ルニ左ノ通

(一) 外務省

(1) 委員會ノ運営方針ヲ企劃立案ス(右ハ委員長ヲ議長トスル委員總會ニ於テ決定ス)

(2) 米備トノ交渉連絡ヲ行フ

(3) 通譯ヲ監督ス

(4) 庶務、會計(現在、海軍備ノ支出トノ關係ハ明確ヲ缺ク爲之ヲ委員會ノ會計ト別個ノモノトスル建前ヲ取り居レリ)ヲ司ル

(二) 海軍省

(1) 約八百名ノ委員、委員補佐及委員會雇傭人(内平均一日五百

外務省

(日本標準規格B5)

RM'-0002

0043

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

名ハ海軍高座工廠ノ工員ニシテ岡工廠ニ宿營シ時ニ晝食、夜食ヲ委員會ヨリ給ス。ノ日々ノ食事ヲ擔當ス。海軍士官下士官九名、炊員三十名（民間ヨリ募集セルモノ）

(四) 米備ニ對スル食糧ヲ農會ヲ通シ供給ヲ負擔ス（現在一日、三、四十「キログラム」）

(五) 高座工廠ノ遊休臺灣人少年工員約七千人ハ米備ニ對スル唯一ノ勞力供給資源ニシテ目下ノ處横須賀鎮守府ノ命ニ依リ委員會ニ協力方指令ヲ受ケ居レリ毎日平均米備ノ要求數ハ約五百名（二、三日前ヨリ一千名）ニシテ其他委員會備ニ於テモ要求シ居リ最近ニ於テハ米備ハ八時間交代ヲ以テ二十四時間制ヲ採用シ居リ其ノ勞務ハ相當過激ナリ

(六) 施設關係（土木）ハ全部海軍施設部ニ於テ負擔シ米備及委員會ニ對シ施設工事ヲ行フ

(七) 飛行場内ニ於ケル海軍保安隊（百廿名）ハ委員會ノ移動ト共

(日本標準規格B5)

外務省

二十三日以後解散ス

海軍省トノ無線連絡ハ十五日以後停止ス

(日本標準規格B5)

外務省

RM'-0002

0044

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

- (三) 神奈川県及運輸省
- (イ) 縣廳ハ動員者ヲ滿シ委員會ヘ勞力ノ供給ヲ斡旋ス(今迄ノ處
炊員三十名、及給仕「ボーイ」十八名ヲ斡旋シ來リ採用セリ)
- (ロ) 縣廳及運輸省ハ車輛關係ヲ負擔ス米側ニ對スル車輛ノ供給ハ目
下行ハレ居ラサルモ「バス」及「トラツク」運轉手及車輛修理
士計約三十五名ノ宿舍及食糧ヲ供給シ居レリ、別ニ委員會ニ對
シ乗用車「バス」「トラツク」運轉手十名ヲ供給ス
- (ハ) 縣廳ハ警備隊ヲ組織シ場外ノ警戒ニ當リ居ルモ警備隊ハ委員會
ニ屬シ居ラス
- (四) 遞信院
有線電話ニ關スル工學及修繕等ヲ行フ
- (五) 中央氣象臺
氣象觀測ニ關シ米側ニ情報ヲ提供ス

(日本標準規格B5)

外務省

ニ新機構

左記一ノ實情ヨリ考察スルニ連絡委員會ノ運営ハ海軍側ノ協力無
クシテ困難ニシテ將來海軍側ノ協力ヲ期待シ得サルカ如キ場合、
神奈川県廳ノ協力ヲ受クル外無ク其ノ爲ニ出來得ルタケ速ニ神
奈川縣廳ヲ海軍側ニ代ラシムル様仕向ケサルヘカラサル處之ヲ外
務、海軍、神奈川県廳、遞信院ニ付テ見ルニ左ノ通

(一) 外務省
現在ノ人員ヲ以テ充分ナルモ今後文書及會計事務ヲ處理スル爲
ニ文書會計ノ精通者ヲ要求ス

(二) 海軍省
工廠ノ工員ノ利用ハ當分ノ間必要缺クヘカラサル處近々中
縣ニテ提供シ得(四、五百名位)右工員ノ存スル限り之ヲ利用
スル万途ヲ講セサルヘカラス

(三) 施設(機木)關係ハ現在資材、請負ハ全部海軍施設本部ニ於

(日本標準規格B5)

外務省

テ擔當シ居ル處委員會ニ於テ聯合軍ノ工作隊ヲ利用シ得ヘシ

（一）神奈川縣廳

（一）高座工廠ノ工員ノ利用不可能トナル場合若ハ米側ニ於テ右少年工員ノ代リニ成年労働者ヲ要求スル場合勞務ハ神奈川縣ニ依頼セサルヘカラス

（二）給與關係ハ現在縣ニ於テ余リ負擔シ居ラサルモ今後海軍ノ引揚後ニハ特殊ノ機構（別紙参照）ヲ新設シ之ヲ通シテ關係官廳ニ連絡ノ上實行セシメサルヘカラス

（三）施設（土木）關係ハ現在ニ於テ全然負擔シ居ラサル處今後縣廳ニ依頼セサルヘカラス

（四）飛行場内ニ於ケル警備ハ九月十三日以降保安隊ヲ解散シ場外一帶ニ於ケル警備ハ縣廳ニ於テ負擔シ居ル處右警備隊ハ委員會ニ屬シ居ラサルヲ以テ速ニ之ヲ委員會ニ加入セシムル要アリ

（日本標準規格B5）

外務省

（五）車輛關係ハ現在ノ儘ニテ充分ナリ

（六）遞信院及中央氣象臺（其ノ中不必要トナル）現在ノ儘ニテ充分ナリ

以上ノ見地ヨリ新委員會ノ組織ハ左ノ如ク構成スルコト可ナルヘシ（奏任外三、縣二、海五、判任又ハ囑託、外四、縣五、海五、運一、遞六、委員會一四〇）

委員長、外務（奏任三等級）

奏任	判任又ハ囑託	雇傭員
總務 外務奏任（四、五）一	外務判任又ハ囑託 一	通譯 八十
通譯	外務判任又ハ囑託 一	給仕 二十
勞務 縣 奏任一、海士一	縣判任二	烹炊 二十
給養 海士四	海下五	運轉手 十
運輸	縣判任二、運判任一	
施設	縣判任一	
遞信	遞判任六	

（日本標準規格B5）

外務省

RM'-0002

0046

1.2.0.1-1-2

厚木地區對聯合軍協力會社設立要綱案

昭和二十年

一 會社設立ノ目的

厚木連絡委員會ノ下屬實行体トシテ進駐軍館ニ委員會ノ監督下ニ一定事業ノ實施經營ニ當リ進駐軍ノ便益ニ資スルト共ニ、他面地方官民ノ對進駐軍協力ニ關シ緩衝機關トシテ、犬馬ノ勞ヲ執リ以テ彼我ノ圓滑、合理的ナル協力關係ノ發展ニ寄與セシメントス

二 會社ノ名稱（假稱）

Atsugi Service Corporation for Allied Troops.

厚木サービス協會

三 事業ノ内容

(一) 進駐軍ノ需要スル生鮮食料品（生獸鳥魚肉、生野菜、生果物等）ノ地域内ニ於ケル調達ノ代行

(二) 進駐軍將兵ニ對スル除外酒保ノ受任經營（飲食、娛樂、慰安、

外務省

(日本標準規格B5)

<p>警備 縣奏任一</p> <p>人事 外務奏任一</p> <p>文書</p> <p>會計</p>	<p>外務判任又ハ囑託</p> <p>外務判任一</p> <p>外事務員十</p>
一〇	二一
中央氣象臺(五十一)	一四〇一七

外務省

(日本標準規格B5)

RM'-0002

0047

休憩宿泊施設ノ整備經營、日用品、土産品ノ蒐集販賣等）
 三 進駐軍ニ對スル雜役夫ノ供給、清掃、塵厨芥ノ處理請負等居住
 關係雜役ノ提供
 四 其他聯合軍ヨリ特ニ要望セララルル事業
 會社ノ性格
 半官半民ノ特殊會社トスルヲ可トスルモ政府出資ヲ不可トセバ純
 然タル民間會社トスルモ可ナリ。
 五 資本金
 當初三百萬圓程度ヲ以テ發足シ、必要ニヨリ増資スルモノトス

(日本標準規格B5)

外務省

RM'-0002



陸軍

陸海軍東京連絡機関成立
経緯及業務の概要

一、本機関成立の経緯及業務ニ及フニ先テ厚木
連絡委員ニ関シ述フレハ左ノ如シ

ニ、厚木連絡委員

聯合軍ニ對シ主トシテ第一次進駐準備ヲ

容易ナラシムルト共ニ其ノ要求スヘキ進駐ニ應

ズル厚木地區ノ基地整備、宿營及給養等

ノ統制幹旋及之ニ附隨スル案内及接待的

業務ヲ擔任スル為設置セラレ有米陸軍中

將大本營及各省ヨリ編成セル委員ヲ指揮

シ八月二十五日ヨリ厚木ニ於テ其業務ヲ施行セリ

此際警備治安維持ニ関係アル事項ニ関

シテ、現地警備擔任指揮官ノ指揮ヲ受ク、

三、八月二十日有米陸軍中將ハ聯合國最高司令

0212.0.1-1-2



部ノ横濱移動完了ト共ニ厚木連絡委員
長ノ任務ヲ山澄海軍大佐ニ引継クヘキ訓令ヲ
受領ス。

八月三十日聯合國最高司令部ノ厚木到着
同日横濱移動完了ト共ニ有末中将ハ厚木
連絡委員中所要ノ陸海軍幕僚等ヲ指揮
シ横濱ニ移動シ要求文書第三號四ノ(1)ノ
任務(隨時緊急問題ヲ解決スル爲大本營
參謀ト協議)ニ服セリ

四九月十七日聯合國最高司令部東京進駐ニ
伴ヒ同司令部ヨリ現存ノ大本營連絡機關
ハ日本大本營ニ代ル陸海軍両省ノ連絡機關
トシテ其ノ職務ヲ繼續スヘキ要旨ノ覺書ニ
ヨリ陸海軍連絡機關トシテ其ノ業務ヲ繼續セリ

陸軍

五、陸海軍東京連絡機関現在ノ業務概ネ左
ノ如シ

聯合國代表最高司令部ニ對シ陸海軍
關係事項（但シ純海軍事項及聯合國
海軍ヨリ直接海軍ニ連絡スル事項ヲ除ク）
ニ関スル情報ノ提供、連絡並ニ交渉

以上

引隊詳解

厚木連絡委員会編成要領(案)

一、設備ノ目的

主トシテ第一次撤退地域ニ於ケル諸設備ニ關スル情報ヲ提供シテ
第一次進駐準備ヲ容易ナラシムルト共ニ要求スヘキ進駐ニ應スル
基地整備、宿營及給養等ノ實施ヲ處理スルヲ以テ目的トスルモ之
ニ附随スル案内及接待ノ事項ヲ擔任ス

「許」聯合軍ノ要求事項ノ大要左ノ如シ

- 1、先遣隊ノ任務遂行上有ユル好意、便宜
- 2、第一次撤退地域ノ設備ノ爲先遣隊長ノ要求スル情報提供
- 3、通譯、案内人ノ準備及之ニ必要ナル自動車ノ準備
- 4、第三文書別紙Aノ要求事項處理

ニ委員ノ編成左ノ如シ

委員長	陸軍	一名
委員	陸軍	八名

外務省

RM'-0002

0053

委員長	好上 總領事 (外)
副委員長	上田 大佐 (海)
委員	星 事務官 (外)
給與	高橋 少佐 (海)
勞務	内田 少佐 (海)
委員聯佐	大原 副領事 (外)
	多田 書記生 (外)
	正出 書記 (外)
	杉田 軍醫少佐 (海)
	他 二名
	遠藤 大尉 (海)
	石川 大尉 (海)
	栗出 少尉 (海)
	小島 少尉 (海)
	佐藤 地方事務所員 (神奈川)

外務省

連署通信	内田 少佐 (海)
施設	森 技師少佐 (海)
警備	内田 少佐 (海)
増 添 警 部	(神奈川)
山 名 技 手	(東京通信局)
八 梁 中 尉	(海)

外務省

RM'-0002

0057

RM'-0002

0058

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

昭和二十年十一月八日

郵便物宛先記入方変更に関する件

本件は従来貴局差出の當委員會宛公用郵便物宛先ハ
 神奈川縣大和町厚木航空隊又ハ神奈川縣厚木憲兵隊跡ニナル
 字句使用爲受付所管郵便局モ其都度相違シ配達遅延ニ
 依リ事務内滞ナル遂行上多大支障ヲ來シ居ル現狀ナルニ鑑ミ今般
 郵便郵便局長來訪ヲ求メ種々懇談結果神奈川縣厚木航空隊跡
 終戦連絡厚木委員會宛郵便物凡テ左記ニ處理被致度此段報告申進ス

差出シ當委員會宛郵便物凡テ左記ニ處理被致度此段報告申進ス

昭和二十年十一月八日

終戦連絡中央事務局

總裁官房 秘書課長殿

帝國厚木連絡委員會

委員長 井上



M 1.2.0.1-1-2

文書課長

大臣
 長官
 部長

現地連絡委員會委員長ノ権限ニ用スル件

外相 厚木、横須賀、鹿屋、横次、館山等縣合軍ノ上陸地
 區ニ於ケル現地連絡委員會ノ委員長ハ其ノ件務達成
 爲ニ於テ即時實行ヲ要シ所管官廳ニ連絡
 スルコト困難ナル地方的事項ニ付テハ委員長ノ責
 任ニ於テ之實行スルコトヲ得ルモノトス

即略



現地連絡

發信用執務用	
主信	/ /
附	
甲	
乙	
丙	
丁	
風	
備考	M 1.20.1-1-2

懸案

駐屯占領軍ニ傳へ上委員會ノ活動ヲ止スレ度
 際今後厚木ニ於ケル連絡事務ノ運営方法ニ付テハ目下
 中央ニ於テ中五航空隊ト協議中ナル旨附言セラレ度
 二右轉團鑓指令發出理由ニ付中五航空隊隊長ハ厚木
 委員會ハ快力的ニラスト白頭ヲ以テ述ヘタリ

公 信 案
 外 務 省

文書課發送日	主 統務部	淨書	正校(原稿)	(淨書)
機密	普通	昭 和 年 月 日 附 屬	昭 和 二 十 年 三 月 六 日 起 草	
受 信 人 名	在厚木駐屯連絡地方委員會 今井委員長	發 信 人 名	吉田總裁	
先付送寫		記 録 件 名		
件 名	一 聯合軍最高司令部ヨリ三月四日附ソルテ厚木ニ於ケル 連絡委員會之ヲ閉鎖スレトノ指令アリセルニ付右當地			

記帳済

公 信 案
 外 務 省

RM'-0002

0059

M 1.2.0.171-2

中
記

終戦連絡中央事務局

厚木ニ於ケル連絡事務ニ関スル件

昭和二一、三、一五

三月四日附「マンソン」大佐ヨリ C、L、O 宛書翰ヲ以テ厚木飛行場

ニ於ケル連絡委員會ヲ閉鎖スル様申付アリタリ。

二、C、L、O、ハ右指令ニ應ジ厚木連絡委員會ヲ閉鎖スル用意アルモ

厚木連絡委員會ノ従来行ヒ居リタル厚木飛行場ノ事務ヲ提供

該業及ヒ物資ノ調達ハ厚木連絡委員會由鎖後如何ナル様

ニ於テ之ヲ管理スルニトナルキヤ承知致度。

終戦連絡中央事務局

第五五五号 (The Fifth Air Force) / スタウト (Stout) 大佐

ハ終戦連絡中央事務局古内秘書隊長トノ會談ニ於テ

厚木飛行場ニ於ケル連絡事務ハ之ヲ三川

ルニトヲ手授セラレタリ。然ルニ此ノ場合ニ於テ

出張所ヲシテ監督者ヲセムハ

地理的、交通的狀況ニ鑑ミ能ク非ズ張所ニ厚木飛行

行場ニ常駐者ヲ派遣スルニトナルベク然ラ厚木連絡委員會

ヲ閉鎖ストキハ現在ノ厚木連絡委員會ノ

終戦連絡中央事務局

ヲ変更スルニ止マリ厚木ニ於ては連絡標掲ハ依例一残存スル
 (ニハ事務會ヲ閉鎖 (Close) スベトアルモ
 エトトナル等ヲ指稱シ前掲指令ニ準拠シテ其ノ旨ニ準ルルイホ
 (Contact) (Confidential Work) ス
 ノ変更ニ止ルニト依リセラレタセト解シ差支ナキヤ否ヤ
 ヲ承知致ス

終戦連絡中央事務局

ヲ変更スルニ止マリ
 厚木ニ於ては連絡標掲ハ依例一残
 存スル
 貴所提供 設想 物方ノ調達等ヲ管
 掌セム
 三、而シテ厚木ニ於ては連絡標掲具ノ元ノハ之ヲ残存セムル事ヲ
 以テシ、
 (ニ於ては連絡標掲ハ立川ヨリ
 出テ、)
 且、オトシテ、厚木(空軍)口横濱事務所ヲシテ之ヲ管掌セムル
 事ヲ
 反キテ見たり、何トモハ立川ト厚木ト
 (トシテ) 前者ハ東京方面ニ
 後者ハ神奈川県ニ所在スルニ反シ横濱ト厚木トハ其ニ神奈川県
 ニ所在スル關係上日本例行政標掲トノ關係ニ於テ標掲ヲ

RM'-0002



Memorandum for General Headquarters of the Supreme Command for the Allied Powers
dated 6 April 1946

The General Headquarters requested the Central Liaison Office to close the Local Liaison Office at the Atsugi Airfield by the Memorandum of Colonel F.P. Munson dated March 4, 1946.

However, ~~the Central Liaison Office is ready to close the said office at any time.~~ ~~In compliance with the above request,~~ it ~~has~~ been suggested by the Fifth Air Force that the liaison business at the Atsugi Airfield be taken over by the Tachikawa Branch Office. In that case, ~~because of the distance and the~~ owing to the geographic situation and traffic condition of Atsugi, the Tachikawa Branch Office would be compelled to ~~maintain~~ despatch the necessary personnel to be permanently stationed at the Atsugi Airfield.

停
本
年
中
閉
鎖

~~Under such circumstances the closure of~~ Consequently it should be pointed out that the Atsugi Liaison Office ~~will be nominally~~ ^{would be only nominal} ~~closed, retaining nevertheless its function/into~~ ~~under the jurisdiction of Tachikawa Branch Office, and that the problem of its closure would be reduced to~~ nothing but that of the change of its status.

Moreover, ~~under our administrative system~~ ^{at Atsugi} if the Allies Forces intends to retain any liaison machinery there at all, the machinery must be under ~~charge of the~~ ^{the jurisdiction} Liaison Office which is situated in the same prefecture as Atsugi to handle efficiently the liaison work there, because of our administrative system. ~~Thus the Central Liaison Office suggests the~~ ^{Accordingly} Yokohama Liaison Office instead of Tachikawa Branch Office ~~to take over~~ the liaison work at Atsugi, because the former is situated in Kanagawa Prefecture ~~where~~ ^{in which} Atsugi is located, though the latter is in Tokyo Metropolis.

It is desired that the General Headquarters will ^{give} ~~express~~ its views ~~as to whether this Office complies with the request by~~ ^{on} taking steps to implement the above suggestion.

For the President

RM'-0002

(分類 内 2,0:1-1-2)

0083
秘書課

電 信 案	第 子 號	電送第	號	主管
		昭和2年6月 日	分發	總務部長
進められなく、尚廢止後の格差凡就ては横濱 した中、事務は神奈川県へ引継ぐやう準備を 貴出張所を四月十五日限り廢止することに決定 その旨に残務整理完了せらる	記 録 件 名	宛 名	發	任 務
		今井厚水出張所長	終連總裁	總務課長
事務局長 井藤謙也		件 名		昭和2年 4 月 5 日 起草
横濱へ転番した		厚木出張所内廢止		山家
		い岡事務件		秘書課

電信課長

發電係

山家

連
日
起
草
秘書課

電 信 案	外 務 省
事務局長 井藤謙也 横濱へ転番した 進められなく、尚廢止後の格差凡就ては横濱 した中、事務は神奈川県へ引継ぐやう準備を 貴出張所を四月十五日限り廢止することに決定 その旨に残務整理完了せらる	

RM'-0002

0066

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

M120.112
電信寫
記録
了
印
受
取

<p>昭和三十四年四月十五日 吉田 総 裁 第一六号 （厚木出張所廃止に関する件） 貴電第五号に關し 本十五日内山縣知事に對し事務引継を完了すると共に事務所を閉鎖せり。</p>	<p>郵布先 次官、総務局長、総務、人、文、会、電、次長、総務、部長、総政、絡経、絡秘、絡設、絡管、絡賠、絡秘書、絡総、絡政、軍、安、教、絡経財、貿、商、産、絡交、陸、海、通、絡設、業、経、絡管、総、邦、内、閣。</p>
--	--

外務省

(分類)

電信案	暗 平略	電送第 昭和34年4月15日	號 112	主管 総務部長	發電係		
	第 一 二 號	件 名 厚木出張所廃止に 關する件	宛 横濱事務所 宛	主任 総務部長	5 印	昭和三十四年 四月十五日 起草	()
外務省		厚木宛電報才 五号転書	記録件名	發 総裁			

記
済

RM'-0002

0067

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

終戦連絡

厚連普第六九號 昭和二十二年四月十五日

秘書官

終戦連絡中央事務局

總裁 吉田 茂 殿

出張所閉鎖に關する件

當出張所閉鎖に關しては別途電報にて取りあえず御報告せし通り事務引継に關しては神奈川縣廳と緊密なる連絡の下に夫々完了し本十五日午後より簡單ながら閉鎖式を舉行、所員一同に對し一場の挨拶を行ふと共に貴局朝海總務部長、木村總務課長の御懇切なる謝意御傳言を披露し無事閉鎖を終了し、此次第であります。

終戦連絡厚木出張所

終戦連絡中央事務局厚木出張所 所長 今井重

事務所表札は之を取り外すと共に閉鎖告示を大和駅、基地正門等に貼布せしむるに要する事務あり、依り尚數日所員の一部は事務所に執務せしめ閉鎖事務の完壁を期する所存である。尚國有財産、物品等の管理に就ては別途御報告の豫定である。

終戦連絡厚木出張所

RM'-0002

